

はじめに

今年度も、ホームページ委員会、授業改善委員会、アイデア委員会、研修委員会において、指導員、世話係、各小中学校の算数・数学主任の先生方が、工夫・改善をし、岡崎市の算数・数学部の充実発展に寄与していただいたことに深く感謝しています。

まず、夏休みに行われた県の統計グラフコンクールに137点もの作品が出品されました。また、11点が金賞として全国大会に出品され内5点が全国で入賞しました。あらためて岡崎市の取り組みの質の高さが示されたと思います。さらに今回はアンケートの集計段階で、MicrosoftのFormsを活用する作品もありました。今後の統計グラフコンクールの取り組み方に大きな変革が期待できます。

また、依然としてコロナの影響が多い年でありましたが、授業力・教師力アップセミナーや教育研究大会など、多くの会を対面方式で執り進めることができました。特に教育研究大会では熱心な議論が交わされ、岡崎を代表して大樹寺小の柴田博巳先生、城南小の濱中利矩先生、竜海中の加藤秀太先生、北中の西尾修一先生に県教研の正会員として発表していただきました。

授業と同じで、対話のある協議会は提案者が参加者の顔を見ながら相槌や質問、感想から、自分の意見がどう伝わったかを肌で感じ取ることができます。また、参加者も提案を受けて感じた自分の考えとの相違点を納得のいくまで意見交換することができます。この相互作用で深い理解が得られます。

読書会では、県教研正会員の方々の発表をもとに再度勉強させていただきました。さらに広幡小の松金正樹先生による「統合的・発展的に考える力を育む」のレポートで、皆さんが「深い学び」について考える機会を得たことは大きな成果でした。また、愛知教育大学の高須亮平先生に「資質・能力の育成と教科固有の見方・考え方」でご講演いただき、「数学的な見方・考え方」について丁寧に教えていただいたことは、私たちにとって大きな学びとなりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、私たちの活動に対して常に温かいご指導をいただきました岡崎市教育委員会、また、いつもの的確なご助言をいただいている読書会講師の柴田録治様、栗田万砂夫様をはじめ、多くの先生方に心より感謝申し上げます。

令和5年3月

岡崎市現職研修委員会算数・数学部長 鈴木勝久